

令和3年9月6日

各高等学校バレーボール部顧問 様

栃木県高体連バレーボール専門部 委員長 齊藤 一志

令和3年度第74回全日本バレーボール高等学校選手権大会栃木県代表決定戦の開催について

今年度の各種大会の開催にあたり各高等学校バレーボール部顧問の先生方におかれましては、多方面にわたり御協力いただき誠にありがとうございました。

さて、8月25日に県高体連バレーボール専門部ホームページにてお知らせした通り、標題の件について9月4日に臨時専門委員会を開催し検討を重ねました。高校生の活躍の場を確保するために様々な角度から議論しましたが、緊急事態宣言あるいはまん延防止措置特例法の延長が予想されるなど不確定な要素が多いことや会場を予定していた県立県南体育館が9月16日からワクチンの大規模接種会場に採用されることなど、感染症拡大を防ぐための対策を講じながらの大会運営は大変厳しい状況にあることが確認できました。

難しい判断も含まれましたが今年度の大会開催については、以下の通りとなりましたのでお知らせいたします。

1. 大会・代表者会議の開催について

- (1) 縮小開催とし、一次予選は中止、最終予選（全国総体予選ベスト8以上）は開催する。
- (2) 9/8（水）に予定していた代表者会議は中止とする。
- (3) 最終予選開催に向けての代表者会議は10月中旬以降に実施する。詳細については、会場の確保後、対象校へ連絡する。（9月下旬予定、派遣依頼送付予定）

2. 判断理由（一次予選中止）

- (1) 県内の新型コロナウイルス感染症の状況悪化
⇒9/6現在、栃木県の状況が緊急事態宣言の該当下にある。
- (2) 危機管理上の問題
⇒8月から現在まで県内では練習試合や合同練習会が開催できない状況下であり、各チームは練習試合等を実施し十分な準備をして大会に臨むことができないことが想定される。
- (3) 大会への準備
⇒ワクチンの大規模接種に伴う県立県南体育館の利用不可など、感染症対策を講じた上での会場の確保ができない状況である。

最後になりますが、今年度これまでに開催できた関東予選、保護者の応援を一部認めて実施した全国総体予選では大変お世話になりました。大会が安全に運営できたのは全校の先生方の御協力があったからです。本当にありがとうございました。昨年から続くコロナの影響で、残念ながら高校生にとって大切な大会の一部が奪われる結果となってしまいました。専門部ではこれまでの反省を踏まえ、今後行われる各種大会の開催に向けての準備を入念に進め、高校生の活躍の場の確保に安全等の側面も含め全力で取り組んでまいります。こういった状況下ではありますが、1人1人の選手が目標を持ち主体的に部活動で活動してくれることを祈っております。